

2月も役立つ講座がいろいろ!

シングルマザーの会

◆2月3日(日) 13:30~15:30
 場所: 参画センター相談室
 参加費: 無料 託児: あり(要予約)

子育ておしゃべりサロン

◆2月14日(木) 10:00~12:00
 場所: 参画センター学習研修室1
 参加費: 無料 託児: あり(要予約)

摂食障がい家族の会

◆2月16日(土) 13:30~15:30
 場所: 参画センター相談室
 参加費: 無料

知ってる?

男女共同参画のキーワード

女性の政治参画

今年は4月の統一地方選挙、7月の参院選と続く年。女性の議員が増えるかどうか注目される。昨年5月に『政治分野における男女共同参画推進法』(候補者男女均等法)が施行された。選挙の候補者数を“できる限り男女均等”にするよう政党に働きかける、世界各国に比べて非常に少ない女性議員を増やすよう促す、日本初の法律である。

この法律では、衆院選、参院選、地方議会選に臨む政党と政治団体は、男女の候補者数の目標設定に「自主的に取り組むよう努める」と規定している。

世界の議会で女性が増えたのは、クオータ(割当)制の導入などで、選挙制度を変えたり、党の規則で徹底したりしてきた結果と言われている。日本もこの法律の導入に伴って、女性議員の増加を望む声は少なくない。

これからの日本は、超少子高齢社会で、子育てや介護などへの取り組み、女性が働きやすい環境づくりが重要課題であり、政策に女性の視点が必要である。

現在、女性議員の割合は、衆議院で10.1%、参議院で20.7%、地方議会では10.1%である。世界平均が23.8%なので、日本はかなり低いことがわかる。

香川県で見ると、女性議員の割合が最も高いのは高松市で、市議40人のうち女性は7人で17.5%。全国の市区町村議会の女性議員の割合は13.1%(H29)だが、県内市町の平均は10.0%。全国では31位。高松市以外は、東かがわ市16.7%、多度津町14.3%、小豆島町14.3%の4議会が全国平均を上回っているが、坂出市、三木町、土庄町の3議会は女性議員がゼロである。

一方、県議会では、女性議員が1人しかいないワースト県が全国で3県ある。山梨県、佐賀県、香川県の県議会。女性議員が少ない理由は、立候補自体が少ないようだ。女性が政治に参画するためには、家族をはじめ周りの理解と協力が欠かせない。

今年度、香川県議会議員選挙の投票日は4月7日、高松市長選挙、高松市市議会議員選挙の投票日は4月21日。昨年8月の香川県知事選の投票率は29.34%で、過去最低を更新した。そういうことのないように、選挙は必ず参加して、貴重な1票を生かそう!

今年度、香川県議会議員選挙の投票日は4月7日、高松市長選挙、高松市市議会議員選挙の投票日は4月21日。昨年8月の香川県知事選の投票率は29.34%で、過去最低を更新した。そういうことのないように、選挙は必ず参加して、貴重な1票を生かそう!

(参考資料: 朝日新聞ほか)

予告

鉄道模型であそぼう!

◆3月16日(土)・17日(日)
 10:00~16:00 *日曜日は15:00まで
 場所: 参画センター交流サロン・学習研修室
 参加費: 無料 主 宰: 高松鉄道模型同好会・徳島模型鉄道の会・桃太郎鉄道

利用者懇談会&登録団体交流会

◆3月23日(土) 10:00~11:30
 内 容: センター利用者の懇談、情報交換
 DVD視聴「誰もがその人らしく」
 場所: 参画センター学習研修室3
 参加費: 無料 託児: あり、1週間前までに要予約

さんかく交流サロン

◆3月28日(木) 13:30~15:00
 内 容: 「気軽に味わう俳句タイム」
 講師: 星川 叔子さん(余暇開発士)
 場所: 参画センター学習研修室2
 参加費: 無料

1月の行事から

1/12

男女が共に活躍できるまちづくり講座 アディクションフォーラム&体験発表

参加者数: 45人 場所: 学習研修室3
 講師: 東山良子さん(精神保健福祉士、家族機能研究所所長)
 自らの体験談を5人の方が発表。涙に詰まりながらのお話は、心に染み入る。参加者は静かに聞き入っていた。体験談には、何十年もの本人、家族の思いが詰まっていた。また東山良子先生の「誰もがAC(アダルトチルドレン)」だという発言もその通りだと改めて思った。本人のみならず家族皆すべてが病であることも認識する時間であった。(AKK 後藤)



1/19

こころとからだ元気アップ講座 音楽にふれ いやされ 人にふれ つながる

参加者数: 15人 場所: 学習研修室全室
 講師: 児玉令江子さん(音楽療法士)
 音楽療法の説明の後、“たき火”を歌いながら、新聞紙を破りボールにして大人も子どもも一緒にリトミックをした。大人の脳の体操の後、アンパンマンやふるさとを歌った。(参加者の感想)「徐々に声を出し、体ごと動かしてストレス発散できて楽しい一時だった」「キーボードの生演奏に心打たれた」「育児中なので大声出せて気持ち良かった」など。



1/18

人生100年時代の生き方を考える講座 人生のフシづくり 新たな気分でスタート!

参加者数: 74人 場所: 学習研修室全室
 講師: 倉本英雄さん(日本道友協会会長)
 1月は人生のフシづくりに最適な月である。人生100年時代を生き抜くのも、フシをつくるのも、健康でないと達成できない。そのためには、体を動かすことを習慣づけることが大事。きつい運動でなくても、毎日少しずつ続けるということが、体力、筋力などをつけて充実した毎日が送れるという話を講師から聞いた。人生におけるフシは、個々の生活環境などで、年代は色々、回数も違ってくるが、健康でいて、そのチャンスをうまく活かしていくことが大事だと感じた。

(参加者の感想)
 「太陽・木々など美しい自然の中で生きる姿勢の素晴らしさを教えていただいた」「少しずつ、自分なりに取り入れたい」「毎日やることの大切さがわかった」「ヨガのポーズ、手こすりなど、毎日やっていきたい」「健康のために大変参考になった。実行していきたい」など。



トピックス

2019年度「男女共同参画週間」のキャッチフレーズ募集!

男女共同参画週間は、毎年6月23日~29日です。
 あなたの考えたキャッチフレーズがポスターになり、全国で活用されます。たくさんのご応募お待ちしております!

【募集テーマ】

「学び」を通じて、男性も女性も。ひとりひとりが、多様なライフキャリアの形成と選択ができる社会の実現に向けたキャッチフレーズ。

【応募要項】

- 応募資格
どなたでも応募できます。ただし、応募作品は未発表のものに限ります。
- 応募期間
平成31年1月10日(木)~2月28日(木)まで
- 応募方法
内閣府男女共同参画ホームページのキャッチフレーズ募集ページからご応募ください。

<http://www.gender.go.jp/public/week/week.html>

(問い合わせ先)内閣府男女共同参画局総務課

「キャッチフレーズ募集係」☎03-5253-2111(代表)



●選考方法
内閣府及び外部審査委員による厳正な審査により決定します。

【2018年度 最優秀作品】

「走り出せ、性別のハードルを超えて、今」



・入賞作品の応募者には、後日、記念品を贈呈いたします。
 ・最優秀作品は、6月の男女共同参画週間の期間中に男女共同参画担当大臣から表彰予定です。

【2017年度 最優秀作品】

「男で○、女で○、共同参画で◎。」

【2016年度 最優秀作品】

「意識をカイカク。男女でサンカク。社会をヘンカク。」